



あたらしいともだちやきょういんをむかへ、しんねんどはじかから4ヶふつ。あつという間になつやすみになりました。なつやすみははなび、プール、まつりなどのイベントがたくさんあります。しかししんがたの新型コロナウイルス感染症もおさまりつつあるかとおもひ、きゅうかくだいの急拡大するなどふあんていじょうきょうの不安定な状況が続いております。かんせんしやうの熱中症対策をしながらなつを楽しみたいですね。

学校のいいところ



ひらおかみつえ
平岡充栄

4月から6月にかけて本校の教職員全員の面談を実施しました。面談の最後に「ひのみね支援学校のいいところ」を一人3点ずつ挙げてもらいました。すぐに回答、少し考えて回答、深く考え込んで回答、回答の様子はそれぞれ異なります。回答の内容も児童生徒のがんばりや教職員のがんばり、保護者の皆様の協力や関係機関や地域の方々との協力連携等多岐にわたりました。

共通していたのは、「いいところ」を話すときの誇らしげな表情です。「学校のいいところ」を再認識することは、誇るべき場所であるその集団に帰属する自分自身が「いい」存在であることを再認識する作業でもあるのでしょうか。

良さを認識すると自ずと「自己肯定感」が高まります。「自己肯定感」は内発的主体的なやる気、元気、勇気の源です。内発的主体的なエネルギーに満ちた個が構成する集団は想像以上の力を発揮できる、そのことをひのみね支援学校に着任してこの4ヶ月、日々実感しています。敬意と感謝の日々です。



「北小松島小との交流及び共同学習」

小学部では、北小松島小学校と交流及び共同学習を行っています。6月6日、北小とオンラインで交流学習を実施しました。テレビ画面を通して自己紹介し、ダンスや楽器演奏を披露したり、クイズや手あそび歌をしたりして、楽しい時間を過ごすことができました。

小学部では、交流の目標を「お互いを正しく理解し、自然なふれあいの中で豊かな人間関係を育てる。」と設定しています。交流を通して、同じ地域の学校に通う仲間として、互いに尊重し合える関係を築くことができればと思います。



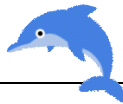
人権の花運動



6月23日(木), 人権擁護委員小松島地区の皆様が来校され, 「人権の花」贈呈式が行われました。「人権まもるくん・あゆみちゃん」が久しぶりに来てくれたこともあり, 贈呈された色とりどりのお花の苗のそばで, 子ども達の笑顔がたくさん咲きました。オレンジや黄色のマリーゴールド, ピンクや白のペチュニア, なでしこなど頂いたお花は夏空の下, 賑やかに咲いています。

人権の花運動…学校に配布した花の種子, 球根などを協力し育てることにより, 生命の尊さを実感し, 豊かな心を育み, 優しさと思いやりの心を体得することを目的としたもの。(法務省HPより抜粋)

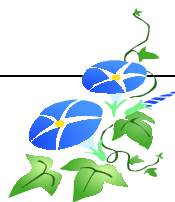
進路の取り組み紹介



高等部就業体験について

卒業後の進路先の選択につながるよう, 2年生3名が6月~7月にかけて就業体験(施設事業所見学や実習)を行いました。一人一人のニーズを考慮しながら体験先を決めています。学校とは違った環境に身を置いて, 先を見据えた体験をしています。

夏休み中に施設見学を予定している2年生もいます。感染症予防を徹底しながら, 2学期には1年生も実施していく予定です。



施設見学について

9月21日(水)保護者対象の施設見学を予定しています。

『障害者支援施設 健祥苑(徳島市応神町)』を見学させていただきます。ご参加予定の皆様には, 当日までに詳細を案内いたします。

今後も, ニーズに応じた企画をしていきたいと思っておりますので, ご意見等ありましたら進路担当まで是非お寄せください。

「産業社会と人間」の授業から

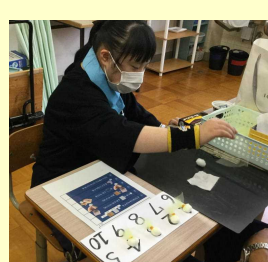
今年度, 高等部「産業社会と人間」は学年, コースにより週1~3時間行っています。個々の課題に応じ進路選択の情報を得たり作業的な学習を行ったりしています。積極的に取り組む意欲や態度を養い, 進路へつながる学びの場となっています。

スプレーボットの組み立て



カードメッセージ記入(視線入力)

インターハイ手作り記念品



先生方の名刺や匂い玉(地域のお店のお手伝い)を作成しています。



名刺確認中

